

第八十一回帝國議會 衆議院 農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第十四回

付託議案 農業團體法案(政府提出)(第四五號) 水產業團體法案(政府提出)(第四六號)

昭和十八年二月二十日(土曜日)午後二時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君
理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君
理事成島 勇君 理事西川 貞一君
理事吉田 正君

青山 憲三君 赤城 宗徳君
池田正之輔君 石坂 養平君
五十嵐吉藏君 岡田啓治郎君
奥 久登君 越智太兵衛君
加藤 知正君 金子彦太郎君
北 勝太郎君 小平 權一君
河野 一郎君 眞藤慎太郎君
鈴木 重次君 杉山元治郎君
高橋熊次郎君 高橋壽太郎君
土屋 源市君 中井 亮作君
中川 寛治君 平野 力三君
松浦 伊平君 松原五百藏君
松山常次郎君 間宮 成吉君
森部 隆輔君 山口左右平君
山口馬城次君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君
出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 重政 誠之君
農林省水産局長 寺田 省一君
農林書記官 藤田 巖君

第六類第八號 農業團體法案外一件委員會會議錄

第十四回 昭和十八年二月二十日

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
農業團體法案(政府提出)
水產業團體法案(政府提出)

○東郷委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス、

前會ヲ以テ質疑ハ終了致シテ居リマスカラ、直チニ討論ニ入りタイト思ヒマスケレドモ、尙ホ其ノ以前ニ於テ此ノ法案ニ對スル態度決定ノ必要上、政府ノ御意見ヲ質シテ置クコトガ必要ダト思ヒマス數點ニ付テ、委員

長カラ政府ニ質疑ヲ致シタイト存ジマス、ドウカ政府ニ於カレマシテモ其ノ趣旨ヲ體シテ、明確ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、七箇條位ゴザイマスガ、一ツノ大臣ニ御答辯願フヨリハ、簡略ニスル爲ニ私ガ讀ミ上ゲマスカラ、其ノ後デ大臣カラ總括的ニ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス
一、本法案ノ實施ニ當リテハ從來ノ沿革及ビ地方ノ實情等ヲ參酌シ、特ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ、苟クモ混亂乃至不安等ノ生ゼザルヤウ萬全ノ方途ヲ講ズルノ要アリト認ムルガ、政府ニ其ノ用意アリヤ如何
二、本法案ノ運営ニ付テハ努メテ是ガ官僚化ヲ防止シ、團體自己ノ責任ト創意トニ依リ、國家奉公ノ使命ヲ全ウセシムルノ要アリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ方針如何
三、市町村長ノ農業團體長兼任ハ特ニ適任者タル場合ニ限り之ヲ行ヒ、一般的ニ強要スルガ如キ指導ハ之ヲナサザルヲ適當ト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ所見如何
四、本法案第四十六條ニハ「行政官廳ハ會

長ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキ其ノ他農業ノ整備發達上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得」ト規定セルガ、農業ノ整備發達上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキトハ如何ナルコトヲ意味スルヤ、其ノ點ヲ明確ニセラレタシ

五、農事實行組合、養蠶實行組合等ノ團體ヲシテ市町村農業會ノ會員タラシメ得ルヤウ、適當ノ處置ヲ講ズルコト必要ナリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ所見如何

六、厚生福利ノ施設ニ關シテハ特ニ農業團體ノ活動ヲ遺憾ナカラシムルヤウ勅令、命令等ノ制定ニ留意セラレンコトヲ希望スルガ、之ニ對スル政府ノ答辯ヲ求ム
以上ガ農業團體法案ニ對スル質疑デアリマス、更ニ第七ト致シマシテ、水產業團體法案ニ對スル點ヲ一點申上ゲマス
水產業團體ノ使命タル計畫生産ニ必要ナル資材ノ配給竝ニ其ノ生産物ノ集荷ハ成ベク新團體ヲシテ一元的ニ行ハシメ、是ト重復スル國策會社等ノ事業ハ水產業團體ニ委讓セシムルコト必要ナリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ所見如何

以上デゴザイマス、何卒農林大臣ヨリ之ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス
○井野國務大臣 只今委員長カラ農業團體法案ニ付テ六ツノ御質疑竝ニ水產業團體法案ニ付テ一ツノ御質問ガゴザイマシタカラ、逐次御答ヘヲ申上ゲマス
先ヅ第一ノ問題ニ付キマシテ御答ヘヲ申

上ゲマス、農業團體ノ統合ハ戦力増強ノ基礎タル食糧生産増強ヲ主眼トスルモノデアリマスガ故ニ、本法ノ實施ニ當リマシテハ徒ラニ劃一ノ弊ニ流レ、却テ生産増強ニ支障ヲ招カスルガ如キコトハ嚴ニ戒ムベキハ當然デアリマシテ、十分從來ノ沿革及ビ地方ノ實情ヲ斟酌シ、苟クモ混亂等ノ生ゼザルヤウ實施上適切ナル指導乃至措置ヲ講ジタイト存ズル次第デアリマス

第二ノ點ニ付キマシテハ、農業團體ヲシテ眞ニ國家ノ協力機關トシテ活動セシメ、其ノ國家的的使命ヲ達成セシメマス爲メ、之ニ必要ナル若干ノ監督規定ヲ設ケタノデアリマスルガ、農業生産ノ増強ハ團體自己ノ責任ト創意ニ基ク活動ニ俟ツ所大ナルハ當然ノ次第デアリマシテ、政府ノ指導、監督ノ要諦モ亦其ノ健全ナル發達ヲ圖ルニアルモノト考ヘラレマス、殊ニ事業運営ノ中心タルベキ會長ノ選任等ニ付キマシテハ、團體ノ創意ヲ十分尊重スルヤウ指導致シタイト存デゴザイマス

第三ノ點ニ付キマシテハ、市町村長ノ農業團體長兼任ニ付キ市町村長タル人ノミニ條件ニ限ラズ、其ノ外諸般ノ條件ヨリ見マシテ適當デアルト考ヘラレル場合ニ於キマシテハ之ヲ兼ネルヤウ指導スルト共ニ、一面團體長ガ諸般ノ條件ヨリ見マシテ、市町村長タルニ適當ナル場合ニ付キマシテハ、寧ロ之ヲシテ市町村長ヲ兼ネシムルト云フ風ニ指導ヲ致シテ參リ、且ツ是ガ指導ニ付キマシテモ一般的ニ強要スルガ如キ干涉的態度

ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス
以上デゴザイマス、何卒農林大臣ヨリ之ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス
○井野國務大臣 只今委員長カラ農業團體法案ニ付テ六ツノ御質疑竝ニ水產業團體法案ニ付テ一ツノ御質問ガゴザイマシタカラ、逐次御答ヘヲ申上ゲマス
先ヅ第一ノ問題ニ付キマシテ御答ヘヲ申

ハ執ラザル方針アリマス

第四ノ點ハ、農業ノ整備發達上會長ヲ不適當ナリト認ムル時ニ該當スル事例ト致シマシテハ、例ヘバ一、事業運営上措置ヲ誤リ會員ノ信望ヲ失ヒタル場合、二、總會ノ決議ニ依リ不信任ヲ表明セラレタル場合、三、疾病等ノ爲メ業務遂行上ニ支障ヲ來ス場合、四、其ノ他右ノ事態ニ準ズル場合ニシテ農業ノ整備發達上著シク在職ヲ不適當トスル場合等デアリマス

第五ノ點ニ付キマシテハ、農事實行組合、養蠶實行組合ハ自然發生の團體トシテ存在セシメ、之ヲ維持育成セシムル從來ノ方針ニハ何等變リハナイノデアリマシテ、唯之ヲ市町村農業會ノ會員トシナカツタノハ、農業者ガ強制加入トナツテ居リマスノデ、二重加入ヲ避ケル意味デアリ、今後ニ於キマシテハ員外利用、協力命令等ノ方法ニ依リマシテ、從來通り部落團體ノ活動ニ支障ナキコトヲ期シテ居ル次第デアリマスガ、尙ホ御趣旨ノ次第モアリマスルカラ、十分考究致シタイト存ジマス

第六ノ點ニ付キマシテハ、現在農業團體ニ於テ行ツテ居リマスル厚生福利施設ハ、引續キ新農業團體ニ於キマシテ之ヲ行ヒマスルコトハ勿論、將來ニ於キマシテモ其ノ必要性等ニ鑑ミ、農業團體ヲシテ之ニ當ラシムルヲ適當ト認ムルモノニ付キマシテハ、從來通り之ヲ行ハシメタキ所存デアリマス、法令ノ制定實施ニ當リマシテモ、右趣旨ニ依リ措置致シタイト存ジマス
次ハ、水産業團體法案ニ付キマシテノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス
水産業團體ノ使命タル計畫生産ノ達成ノ爲メ必要ナル事項ニ關シマシテハ、政府ハ

各般ノ施設ヲ講ジテ之ガ實現ヲ圖ラントスルモノデアリマシテ、水産業團體ヲシテ資材ノ配給及ビ生産物ノ集荷ヲ一元的ニ行ハシメ、是ト重複スル國策會社等ノ事業ヲ委讓セシムルコトニ關シマシテハ、能ク其ノ機能ヲ勘案シ、各種ノ資材又ハ生産物ノソレゾレノ具體的實情ニ應ジ、適切ナル方策ヲ執リタキ所存デアリマス

○東郷委員長 只今農林大臣ノ御答辯ニ依ツテ、是等ノ諸點ニ對スル政府ノ御所存ノ程ハ能ク了承致シマシタ、就キマシテハ、本法案ノ運営其ノモノノ適否如何ガ此ノ法案ノ效果ヲ舉グル上ニ於テ重大ナル關係ガアルノデゴザイマスカラ、本案成立後ニ於キマシテハ、政府ハ特ニ是ガ運営ニハ深甚ノ注意ヲ拂ハレテ、萬遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ此ノ機會ニ於テ改メテ要望致シテ置キマス
是デ質疑ハ終了致シマシタ

○加藤(知)委員 豫テ私ハ大臣ニ對シテ保留シテ居ル質疑ヲ、此ノ際御許シ下サル譯ニハ行キマセスカ
○東郷委員長 ドウデセウ、私、アナタノ御質疑ハモウ御止メニナツタモノト思ツテ居ツタノデスガ、ソレナラアナタノ質疑ヲ先ニ御願ヒシテ置イタ方ガ適當デアツタノデス

○加藤(知)委員 昨日モ念ヲ押シテ置イダノデ、マサカソレヲ御忘レナサル程ノ御高齡トモ思ハレマセヌ
○東郷委員長 理事諸君トアナタト交渉スルコトヲ何シテ居ツタノデスカ、或ハ何シタカモ知レマセヌガ、ドウデセウカ
○加藤(知)委員 オカシイデズネ、再三委員長ニ念ヲ押シテ申上ゲテ居ルニモ拘ラズ、

サウ云フヤウナコトデハ甚ダ遺憾ナ譯デアリマス
○東郷委員長 大體委員長ノ總括的質問ヲ最後ニスル積リデアツタノデスカラ、今茲デ又質問ヲスルコトハドウカト思ヒマス、甚ダ申譯アリマセヌガ、私失念シタ譯デモ何デモナイノデスガ、御諒承願ヒタイト思ヒマス
○加藤(知)委員 ソレデハ宜シウゴザイマス

○東郷委員長 是ヨリ農業團體法案ヲ議題トシテ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許可致シマス——成島勇君
○成島委員 農業團體統合ノ目的ハ、現在ノ要請セル段階ニ應フル爲ニハ、並立セル團體ノ力ヲ綜合シ、之ヲ國家ノ要求スル所ニ集中スルニ向ハシメル、即チ團體力ガ整備強化カレルコトニ其ノ基本目的ガ存スルモノト思ハレマス、隨テ新團體ハ國家ト農民ノ紐帶トナリ、第一ニ國ノ要請スル所ヲ農民ニ強ク滲透サセルト共ニ、第二ニ農民ノ盛

リ上ル奉公ノ熱意ヲ集中スルニ發揮セシムル所ニ、其ノ基本的使命ガアルト思ハレルノデアリマス、即チ新團體ハ國策ニ協力スベキ機關デアルト同時ニ、一面生産ノ責任團體デアル、特ニ今日必要トサレテ居ル面ハ此ノ後者ノ面デアリ、此ノ機能發揮ニ十分ノ措置ガ講ゼラレルベキデアルト考ヘマス、今日農村ニ於テ二ツノ重大國策タル食糧ノ増産確保ト、強力無比ナル農村人口ノ維持ガ緊要トサレテ居リマスルガ、此ノ目的達成ノ爲ニハ、新團體ヲシテ飽クマデモ強キ生産責任團體ヲラシメルコトガ必要デアルト思ハレマス、即チ農民ガ生産

ノ責任ヲ自身ノ心トシテ燃エ上ラセ、之ヲ團體ガ集中的ニ纏メテ、一ツノ實力トスル所ニ今日最モ要請サレテ居ル部面ガアルノデアリマシテ、單ニ政府ノ計畫ヲ傳達スルダケデハ、此ノ使命ノ達成ガ不可能ト信ズルノデアリマス、此ノ觀點ニ於テ政府ハ團體法今後ノ運用ニ十分ノ處置ヲ講ズル必要ガアリマス、殊ニ只今委員長ヨリ質問サレタル事項ハ、本委員會ニ於テ各委員ヨリ凡ユル角度ヨリ熱心ニ質問サレタモノヲ總括シタルモノデアリマシテ、大臣ハ之ニ對シテ誠意ヲ披瀝シテ答辯サレテ居ルノデアリマシテ、私ハ大臣ノ答辯ヲ深ク信頼スルノデアリマスガ、此ノ信頼ヲ裏切ルコトナキヤウ、關係方面ト緊密ナル提携ヲ希望致スノデアリマス、而シテ本團體ヲシテ愈々健全ニ發展セシメ、獨リ日滿支ノ指導團體トスルノミナラズ、廣ク東亞共榮圈内ノ指導團トシテ活潑ナル育成ヲ見ルコトヲ希望致スノデアリマス、而シテ私ハ左ノ附帶決議ヲ附シテ本案ニ賛成スル者デアリマス

附帶決議
政府ハ農業團體ノ重大使命ニ鑑ミ速ニ農業關係國策會社等ニ對シ徹底の整理ヲ斷行シ、其ノ業務ヲ農業團體ニ移讓セシムベシ
○東郷委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
〔總員起立〕
○東郷委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案ノ通り可決致シマシタ——次ニ本案ニ付キ成島勇君ヨリ附帶決議ガ提出サレテ居リマス、仍テ是ガ採決ヲ致シマス、附帶決議ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○東郷委員長 起立總員、仍テ附帶決議ハ可決致シマシタ

○井野國務大臣 只今ノ附帶決議ニ關シマシテ私ノ所信ヲ申上ゲタイト思ヒマス、農業關係國策會社ハ統制經濟ノ發展過程ニ於キマシテ、ソレノ其ノ具體的要請ニ基キ成立致シマシタ機關デアリ、且ツ生産、配給、消費ノ各層ニ互ル業者ヲ以テ組織シテ居ルモノデアリマスノデ、能ク其ノ機能ヲ勘案シ、其ノ具體的實情ニ即シ、整理移讓スルコトヲ適當ト認ムルモノニ付キマシテハ、之ヲ斷行致ス所存デアリマス

○東郷委員長 引續キ水産業團體法案ヲ議題トシテ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス——青山憲三君

○青山委員 私ハ本案ニ對シテ先ヅ以テ附帶決議ヲ附加ヘテ賛成ノ意ヲ述ベヨウト思ヒマス

附帶決議

本法案第九條ノ字句ハ妥當ナラザルノ憾アリ政府ハ委員會ニ於ケル言明ニ基キ速ニ漁業法第一條ト共ニ適當ノ措置ヲ講ズベシ

此ノ第九條ノ營利ノ目的トスルト云フ字句ニ對シテハ、本委員會ニ於テ非常ニ議論ガアツタノデゴザイマス、私ハ此ノ附帶決議ニ對スル大臣ノ言明ヲ信賴シテ、先ヅ之ニ依ツテ進マウト云フ考ヘデゴザイマス、本法案ハ水産界多年ノ要望デアリマシテ、政府ハ大戰下ニ於テ水産物ノ生産増強ヲ要請セラレ、此ノ法案ヲ提出セラレマシタコトハ、洵ニ時宜ヲ得タルモノト存ジマス、本法案ノ成立ニ滿腔ノ賛意ヲ表スルモノデアリマス、併シナガラ本法

ニ依リテ設ケラレタ團體ハ、政府ノ要請セラレタル生産増強ノ使命ヲ完全ニ達成スベキ機能ヲ發揮セネバナリマセス、此ノ事ニ付テハ只今委員長ヨリ大臣ニ質疑ガアリマシテ、大臣ヨリハ御答辯ガアツタノデゴザイマス、私ハ此ノ大臣ノ御言明ヲ信賴致シテ、本法案ニ賛成ヲ致サントスル者デゴザイマス、附帶決議ハ冒頭ニ申シマシタガ、更ニ之ヲ申上ゲマス、本法案第九條ノ字句ハ妥當ナラザルノ憾アリ政府ハ委員會ニ於ケル言明ニ基キ速ニ漁業法第一條ト共ニ適當ノ措置ヲ講ズベシ——以上デゴザイマス

〔總員起立〕

○東郷委員長 起立總員、仍テ本案ハ原案ノ通り可決致シマシタ——次ニ本案ニ付キ青山憲三君ヨリ附帶決議ガ提出サレテ居リマス、仍テ是ガ採決ヲ致シマス、附帶決議ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○東郷委員長 起立總員、仍テ附帶決議ハ可決致シマシタ、是ニテ本委員會ニ付議サレテ居リマスニツノ法案ハ全部議了致シタノデゴザイマスガ、委員各位ニハ連日ニ互ツテ御精勵、以テ熱心ニ御審議下サレ、且ツ不慣レナ委員長ト協力、御指導下サイマシテ、無事ニ委員會ノ使命ヲ全ウ致シマシタコトハ、御同慶ニ存ズルト共ニ、委員諸君ノ御勞苦ニ對シテ厚ク御禮ヲ申上ゲマス、是ニテ散會致シマス

午後二時四十一分散會

衆議院農業團體法案外一件委員會
議錄第十二回中正誤

頁 段 行 誤 正

一八五 三三〇 ○寺島政府委員 ○寺田政府委員

昭和十八年二月二十三日印刷

昭和十八年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局